

知事コメント

令和4年5/25(水)

沖縄県では、ゴールデンウィーク後に感染者が増加したことから、感染対策の徹底を呼びかけてきており、直近1週間の新規陽性者数は前週比の1以下で推移しているほか、新規PCR陽性率は10%後半となっており、下がる傾向が見られます。

GW後の子どもたの感染拡大を抑制する取り組みについて、5月12日に県民へ呼びかけを行いました。その後、10代の新規陽性者数は減少した一方、10歳未満では高い水準で推移しており、特に未就学児における感染拡大が懸念されます。

感染拡大の勢いは弱まってきており、新規感染者数が減少する可能性もあることから、このまま抑制が続けば、普段の生活に戻れるのではないかとの期待も膨らみます。

一方で、連休後、入院患者数は連日300名を超え、病床使用率は県全体で40%後半から50%前半の高い水準で推移しています。

また、重点医療機関の休業スタッフ数は500名以上となるなど、医療機関は大変厳しい状況に置かれています。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議で委員から意見を伺ったほか、現在の感染状況及び医療体制の状況を踏まえ、今般、「感染拡大を抑え、医療体制を守り、社会経済活動を継続するための対策期間」として、沖縄県対処方針を決定致しました。

特に、沖縄本島では病床使用率が50%を超えるなど、医療ひっ迫が続いていること、また、宮古圏域では病床使用率に改善傾向は見られるものの、重点医療機関が一部診療制限を行うなど、引き続き医療のひっ迫が続いていることから、コロナ感染拡大警報を継続することと致しました。

本島圏域、宮古圏域にお住まいの皆さまは引き続き、ご協力をお願いします。

マスクの着用については、国の対処方針の変更を受けて、県の対処方針を見直しています。

屋外において、他者と身体的距離を確保できる場合、他者と距離が取れない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ありません。また、夏場については、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨します。

小学校に上がる前の乳幼児はマスクの着用には注意が必要であり、特に、2歳未満ではマスク着用は推奨されません。2歳以上の就学前の子どもについても、本人の体調がすぐれず持続的なマスク着用が難しい場合、無理に着用する必要はなく、マスクを着用する場合には、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で、着用する必要があります。

ワクチン接種の加速化にさらに取り組みます。

重症化予防の観点から、早期接種をお願いします。特に、60歳以上又は18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方は、4回目の接種をご検討ください。

1・2回目接種を含め3回目のワクチン接種がまだの方は、県や市町村で利用可能な会場での接種をぜひご検討下さい。

県では、さらなるワクチン接種を加速化させるため、6月4日土曜日、6月5日の日曜日、イーアス沖縄豊崎にて県広域ワクチン接種センター臨時会場を設置します。予約無しでも3回目接種を受けることができますので、お出かけついでのワクチン接種をご検討下さい。

新型コロナウイルスに感染していないか不安があり、検査を受けたい場合は、民間PCR検査センターを受検下さい。PCR検査が受けられる民間検査機関一覧については、県HPにて掲載しています。なお、無料PCR検査を6月以降も延長します。

感染拡大を抑え、医療体制を守り、社会経済活動を継続するためのお願いです。

①医療体制を守る

日頃から医薬品を備蓄し、不要不急の救急受診を控えるなど、医療体制を守るためにご協力をお願いします。

②重症化リスクの高い高齢者、妊婦や基礎疾患を有する者に感染を拡げない

医療ひっ迫につながる高齢者、妊婦や基礎疾患を有する者への感染をひろげないため、ご協力をお願いします。

③子どもの感染防止対策に取り組む

子どもの感染が多いことから、保護者の皆様、保育・教育関係の皆様、児童施設関係の皆様のご協力をお願いします。

④移動・会食に関するリスクを回避する

いわゆる3密を避け、会食は4人以下・2時間以内でお願いします。飲食店におかれては、感染防止対策にご協力をお願いします。

⑤ワクチン接種の加速を図る

発症予防・重症化予防を図るため、速やかな3回目接種（未接種の方は1回目又は2回目接種）をお願いします（60歳以上の方・基礎疾患を有する方・肥満のある方は、4回目接種もお願いします）。

感染の減少傾向を確実なものとするには、対処方針で示した基本的な対策を、お一人おひとりが、どのような場面においても繰り返し、確実に実行していくことが大事です。

県民の皆さまにおかれましては、ここで感染対策を緩めることなく、引き続き、基本的な感染対策を徹底していただき、医療体制を守り、社会経済活動の継続が維持できるよう、心をひとつにして、感染対策に取り組む必要があります。

県としても、「ここで感染拡大を何としても抑え込む」との強い決意の下、全力で取り組んでまいります。一緒に頑張りましょう。